

同性パートナーシップ制度の導入をすべきでないか！

民報
おうしゅう
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町 3-59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



令和6年4月統合する
姉体小学校(上)、
黒石小学校(下)

倉成淳市長は、「まずは性的少数者が差別や偏見なく暮らしやすい環境づくりが先決。当事者や男女共同参画推進委員会の意見を聞いて検討していく」と述べるにとどまりました。

差別や偏見なく暮らせる環境づくりが先決



佐藤美雪 議員

佐藤美雪議員は、「同性パートナーシップ制度を導入すること

2月定例会(予算議会)が開かれています。日本共産党市議団は、公約実現、住民要求実現をめざし全員が一般質問に登壇し、倉成淳市長の市政運営の考え方について質しました。今回は佐藤美雪・今野裕文両議員の一般質問(2月20日)の概要について紹介いたします。

で市営住宅への入居や一部民間サービスの受けられるなど当事者の暮らしやすさにつながる。また、市民への一番の啓発になると考える。」と前向きに取り組むよう主張しました。

姉体・黒石小学校統合準備

地域住民への丁寧な説明を

佐藤美雪議員は、令和5年度末をもって統合予定の姉体小学校と黒石小学校の統合準備にあたり校歌の取り扱いについて質しました。

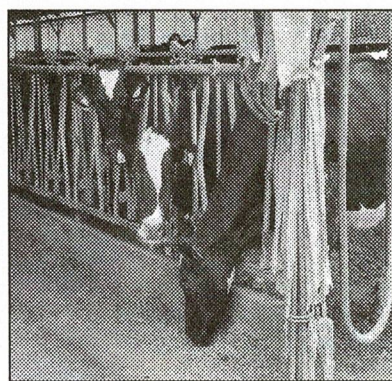
地域振興会や保護者の代表で構成する再編準備委員会は、現在の姉体小学校の校歌を統合後の校歌にすることを決定しました。この決定に対して、両地域住民から、黒石の子どもが「姉体」という文言の歌詞を歌うこと、黒石小学校の校歌が無くなること



今野裕文 議員

今野裕文議員は、農業資材や燃油などの高騰が続く中、窮地に追い込まれている畜産、とりわけ酪農家の問題をとりあげました。

今野議員は、ウルグアイランドで設定されているカレントア



への懸念の声が寄せられていることから、「地域住民の思いに寄り添い、丁寧な説明と対応が必要でないかと質しました。」

小学校の歴史を形に残す取り組みを望む

高橋勝教育長は、「地域住民へ丁寧に説明していきたい。閉校事業実行委員会に対し、補助金として予算措置をしている。小学校の歴史を形に残す取り組みへの一助としていただきたい。」と述べるにとどまりました。

飼料高騰、燃料高騰で苦しんでいる畜産農家を訪問し実態を把握すべきでないか!!

クセスによる、乳製品の輸入をやめ乳価を妥当な価格にする、あるいは、飼料高騰分の支援をする、牝牛の子ども(ぬれこ)の価格を保証するなどが必要だと主張しました。

産農家は、各種補助金や制度資金の活用で持ちこたえている状況とのことで、今後の動向を重視している。現在のところは把握しておらず、農協と連携して状態を把握してゆきたい」と述べるにとどまりました。

倉成淳市長は、「農協によると、畜

畜産農家の訪問は検討したい



日本共産党
参議院議員
紙 智子

3月2日

国会請願署名提出行動

本日は、様々な請願署名が届けられ院内集会が行われました。全国食健連からは家族農業を守り食料自給率を引き上げる請願署名、国民春闘共闘委員会からは、全国一律最低賃金制度の法改正を求める請願署名、福祉保育労の皆さんからは、賃金の引き上げと増員を求める署名が届けられました。このあと、各党の議員室を回られたようです。お疲れさまです。これらの署名を受け止め国会論戦でも頑張ります。



Facebook より